科目名	微生物学	講師	非常勤講師
履修時期	1年　前期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

微生物には、生物の浄化、日常生活に有用な作用、病原性など害を及ぼす作用があるものがある。すなわち微生物は、人間が生きていく上では必要不可欠なものであるが、一方で微生物の中には病原微生物が存在し、それらは感染症の原因となることを意味する。近代看護の創始者であるフローレンス・ナイチンゲールは「病院がそなえているべき第一の必要条件は、病院は病人に害毒を与えないことである」と述べている。微生物についての正しい知識を持ち病原微生物の特徴を理解し、感染症を蔓延させないことこそが看護者の役割の一つである。病原微生物の特徴を捉え感染・発症のメカニズムを正しく理解し、観察とアセスメントについての基本的な知識習得をねらいとし科目設定とする。

学習目標	1. 細菌、真菌、原虫、ウイルスの性質を理解する 2. 感染の成立と発症のメカニズム、及び感染症の予防について理解する 3. 個々の病原微生物の特徴と感染症について理解する
学習内容	1. 微生物の性質 2. 細菌の性質 3. 真菌の性質 4. 原虫の性質 5. ウイルスの性質 6. 感染と感染症 7. 感染症の予防 8. 病原細菌と細菌感染症 9. 病原真菌と真菌感染症 10. 病原原虫と原虫感染症 11. ウイルスとウイルス感染
授業形態	講義
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎 疾病のなりたちと回復の促進④　微生物学（医学書院）
参考資料・図書	適宜、授業内で提示
履修上の留意事項・受講条件	特になし